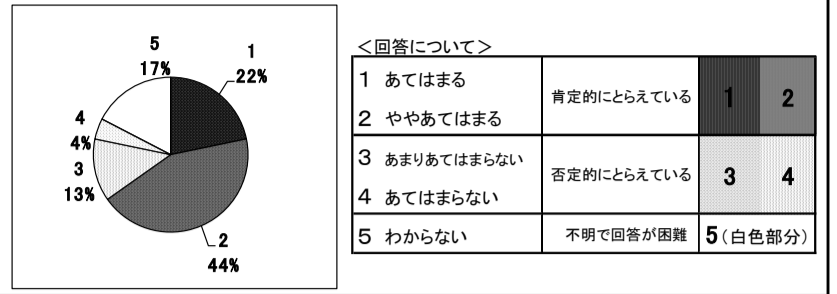


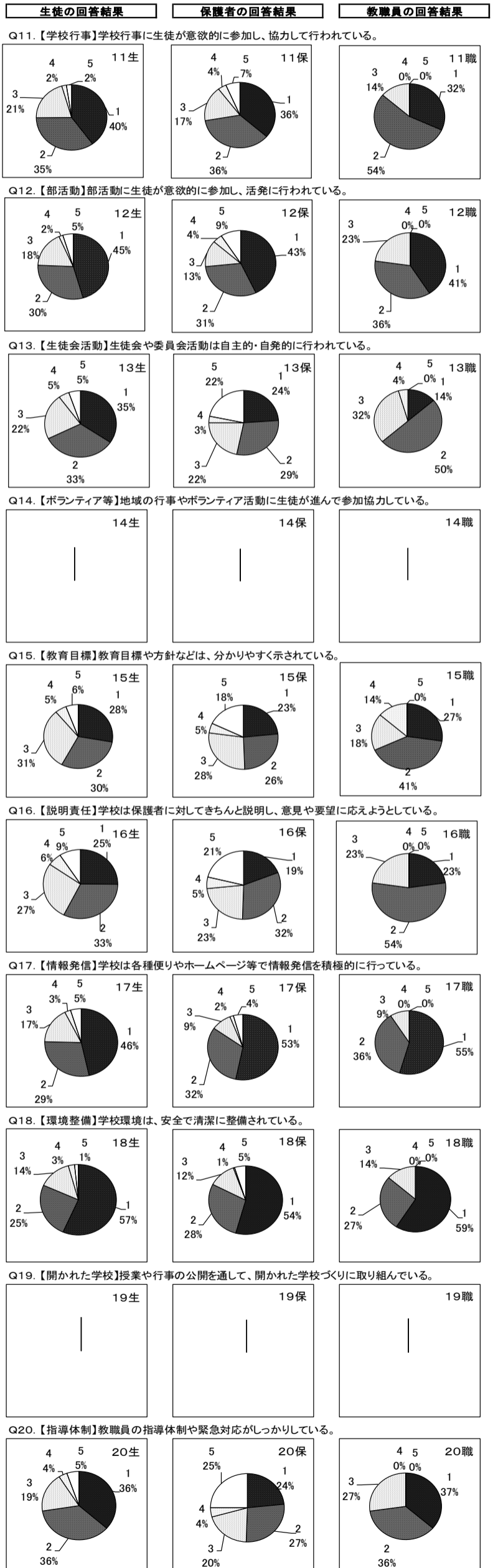
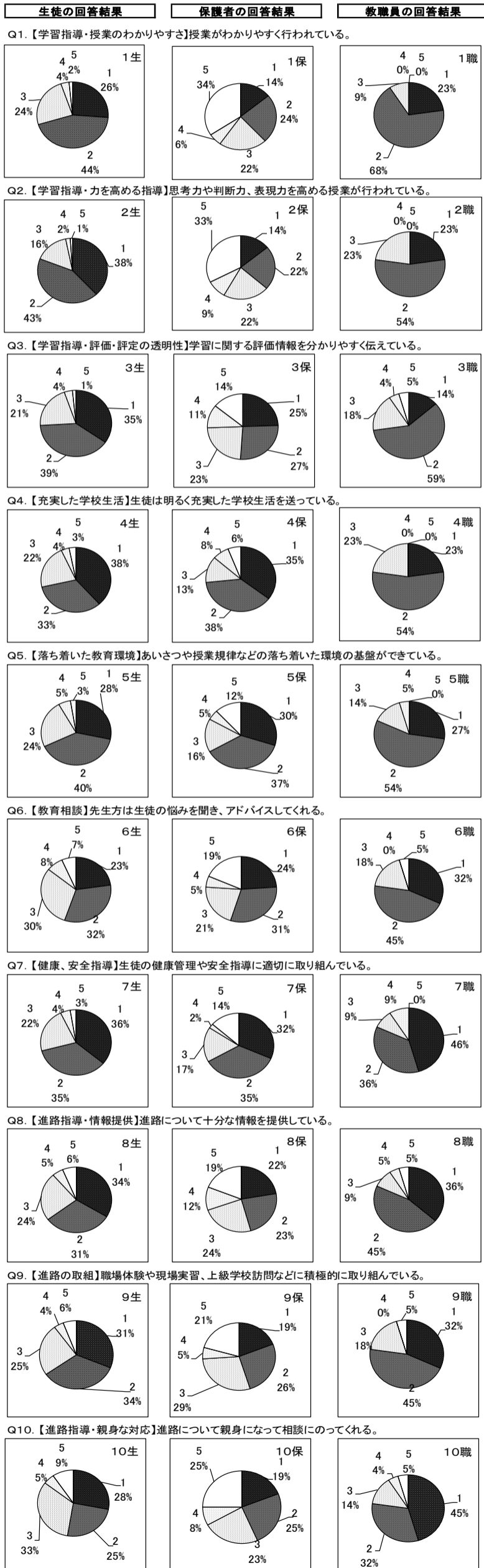
**学校評価アンケート特集** ご協力ありがとうございました

**学校評価アンケート集計グラフの見方**

・グラフの色でおよその傾向が判断できます。  
 ・黒い部分が肯定的な意見で、うすく色のついた部分が否定的な意見です。



グラフを比較しやすいように1面に納めました。  
 文字等が小さくなってしまい申し訳ありません。



裏面にアンケート結果の分析と校長としての考えを掲載しました。

お忙しい中、学校評価アンケートにご協力頂きありがとうございました。アンケート回答にあたり、授業や行事などの学校生活についてご家族で話し合う機会になることができましたなら大変うれしいです。

アンケート結果だけで教育活動の成果を評価することはできませんが、本校に対する信頼度や保護者生徒の願い、本校が抱える課題を発見することができると思います。また、教育活動に直接かかわる教員の意識を変えることにもつながるはずです。簡略ではございますが、校長としての考えを整理いたしましたので、ご一読いただければ幸いです。

## 1. 数値的な分析

昨年度に比べて、ほとんどの項目で肯定的評価が増え否定的評価が減少するという大変うれしい結果となりました。

数値を細かく見ていきますと、生徒の評価は比較的高いが保護者の評価が低い項目があります。また、生徒保護者ともに比較的低い項目もあります。評価の裏にどのような課題が潜んでいるのかを全職員で検討し、課題解決に向けて教職員の力を合わせて努力して参ります。

きびしい評価を頂いた項目は、裏を返しますと保護者や生徒が高い関心を寄せている教育活動であると捉え、学校経営の重点課題と位置づけて取り組んで参ります。肯定的評価が高かった項目は、現状に安心せずさらに伸ばしていけるよう工夫を重ねて参ります。

### ◎保護者・生徒ともに肯定的評価が高い項目（どちらも66%(2/3)以上の項目）

Q4【充実した学校生活】 Q5【落ち着いた教育環境】 Q7【健康、安全指導】 Q11【学校行事】  
Q12【部活動】 Q17【情報発信】 Q18【環境整備】

### ▼保護者・生徒ともに否定的評価が高い項目（どちらも33%(1/3)以上の項目）

Q15【教育目標】

### ▼教員で否定的評価が高い項目（33%以上の項目）

Q13【生徒会活動】

### △生徒と保護者の間で肯定的評価に大きな差がある項目（差が30%以上の項目）

Q1【学習指導・授業のわかりやすさ】 Q2【学習指導・力を高める指導】

## 2. 自由記述について

今年度は昨年よりも自由意見の記述が大幅に少なくなりました。しかし、決まり（校則）の見直し、教員の指導や対応、評価評定につきましては、きびしいご意見や改善案を頂きました。また先生方や教育活動へのお礼や感謝の言葉もたくさん頂き、教職員一同明るい気持ちにもなりました。

具体的な要望等のご意見につきましては、早急に検討して必要に応じて改善して参ります。その他につきましては学校運営改善の参考にさせていただきます。

3学年の評価評定の分布状況につきましては、区内12中学校と年2回比較検討しております。しかし、教科により状況は若干違いますが、本校が他校と比べて特にきびしいという状況では決してありません。この点をご理解をよろしくお願いたします。今後も授業への取り組み状況に関わる評価材料に基づいて適正に評価評定を行い、評価評定の信頼性を高めることに引き続き力を注いで参ります。

### ＜頂いたご意見等の内容と人数＞

先生方や学校へのお礼や感謝 12人

先生によって生徒への対応に差がある等、指導に対する意見 6人

各種便りやホームページ等の情報発信に感謝 5人

他校に比べてきびしい、先生によって差があるなど、評価評定に関する意見 4人

学校の様子がわからない、プリント類が届かない、アンケート回答できない等の意見 3人

教科指導の方法や提出物の分量などについての意見 3人

オンライン授業への感謝や意見 3人

校則の意義や見直しの必要性など、校則の在り方についての意見 3人

カバン、靴下の色、セーター校内着用、ポロシャツ色など、決まり見直しへの具体的な意見 3人

時間を長く、2者面談も選択可能に、定期試験後の面談希望など、個人面談についての意見 3人

部活動再登校の見直し、部活動の在り方などへの意見 3人

保護者会のオンライン対応への意見 2人

職場体験実施に関する意見 1人

学校の施設設備の不備への意見 1人

安全管理のための施錠の必要性についての意見 1人

高校入試等に関する情報提供への感謝 1人

授業について行けない生徒への対応についての意見 1人

## 3. 来年度の学校経営の方向性 ～学校評価アンケートを受けて～

＜重点目標＞主体的に学び、進んで表現する生徒を育成する

- 具体的な実践 ①対話的共同的な活動を通して思考力判断力表現力を高める授業実践  
②きたコンの活用を工夫したわかりやすく興味関心の高まる授業実践。  
③指導と評価が一体となる適正で信頼される評価活動の実践

＜各指導の重点目標＞

◇学習指導

日々の授業とそれに伴う評価評定は、学校教育の中心であり根幹です。生徒たちが主体的に学び考えを交流させる授業を通して思考力判断力表現力を向上させること、そして評価評定の改善を引き続き重点目標として取り組みます。

◇生活指導

落ち着いた教育環境を築くことをすべての教育活動の基盤とします。授業規律の徹底、生徒の声に耳を傾けた指導、教育相談的手法を用いた対応、Q/U検査や生活アンケート等を活かした指導、SC等の専門機関との綿密な連携などに力を注ぎます。また、行事や生徒会活動等を充実させ、自治意識の向上やリーダーの育成、成就感の獲得等を目指します。

◇進路指導

進路指導や入試対応は、保護者生徒にとって期待と不安が非常に高い教育活動です。積極的な情報提供と生徒一人一人にきめ細やかに対応する進路指導に努めます。職場体験や職業講話等を活用して、将来の生き方を考えるキャリア教育の充実を図ります。